

第 7 回 高校生東南アジア小論文

コンテスト

優秀賞

兵庫県立加古川東高等学校 2年

高馬 捺愛さん

数々の観光地や豊かな自然が魅力の国、タイ。世界各地から多くの観光客が訪れ、新型コロナウイルスの影響はあったものの、その人気は衰えない。一方で、サンゴの損傷やプラスチックごみ、下水による海の汚染、大衆化したツーリズムの弊害に直面しているのも事実である。これは、その観光地が受け入れられる許容限度を超えて観光客の過剰混雑の状態、いわゆる「オーバーツーリズム」が招いた結果と言える。

観光事業による生態系への悪影響は、日本を含め他国でも問題になっている。なかでもタイは一部指標で観光産業が経済の2割を占めているのでとくに深刻な問題だ。よってこの分野の施策は、国の見通しにとって極めて重要な問題となっている。観光客の数を増やすより、持続可能なツーリズムを目指し、法令を遵守していないリゾート施設や業者に対し、汚水や廃棄物処理システムの導入を義務付けている。さらに「S T A R（持続可能な

観光促進格付け)」と呼ばれている新たな認証制度の制定も進められている。ホテルやゴルフ場レストランなど業種ごとに基準を設け、その基準を満たすごとにサステナブルツーリズムの貢献度が明らかになる。コロナ禍の影響も相まって、消費者は価格よりサステナビリティを重視する傾向にある。格付けすることにより、各事業者の価値が示され、観光客の選択にも影響すると見込まれる。

またパンデミック中のツーリズムの停滞によって、環境汚染が改善したことで、タイは大きな気づきを得た。一時的な閉鎖は観光事業の停滞は生むものの、環境対策としては効果的であったのだ。さらに、タイは過去にも観光客が増えすぎてダメージを受けた島を閉鎖している。皮皮諸島にあるヨン島と、国立公園に指定されているシミラン諸島のタチャイ島は2016年半ば以降、観光客の立ち入りが禁止されている。2018年、2つの島を観察すると、一時は荒れ果ててしまった

海洋生態系とサンゴが再び栄え、色鮮やかな海が戻りつつあったのだ。こうした成果は、環境問題を抱えている観光地の状況も一定期間をクローズすれば改善できることを示唆する。

法やSTARなどの格付けシステムを整備することによって、まずは事業者にサステナブルツーリズムへ意識を向かわせることに加え、観光地にはオフシーズンを設け、自然本来の力で生態系をケアするよう取り組むことが必要だと私は考える。しかし結局本当に必要なのは観光客の理解であり、明確な規則を設け、改善を強く呼びかけることが第一である。理解ある観光客あってこそ、観光業と自然保護の両立は実現できる。

参 考 資 料

ホ ー ム ペ ー ジ

① ト ラ ベ ル ボ イ ス

② 観 光 客 の 増 え す ぎ 問 題 「 オ ー バ ー ツ ー リ ズ  
ム 」 で 人 気 ビ ー チ が 入 域 制 限

③ <https://www.travelvoice.jp/20180407-108894>

ホ ー ム ペ ー ジ

① Bloomberg.co.jp

② 観 光 ブ ー ム の タ イ に 課 題 、 環 境 問 題 へ の 対  
応 に 苦 戦

③ <https://www.bloomberg.co.jp/news/articles/2019-06-23/PTFJKE6K50XU01>

ホ ー ム ペ ー ジ

① ト ラ ベ ル ボ イ ス

② タ イ 国 政 府 観 光 庁 の サ ス テ ナ ブ ル 旅 行 へ の  
取 り 組 み と 、 日 本 市 場 へ の 期 待 を 聞 い て き た

③ <https://www.travelvoice.jp/20230728-153902>

論 文

① 東 洋 大 学 大 学 院 紀 要

② タ イ に お け る 観 光 政 策 の 変 遷 に 関 す る 研 究

③ <http://id.nii.ac.jp/1060/00006575/>